

金山自治会だより



8月号(葉月)-第196号-

R8. 8. 1発行

編集・発行

金山自治会

(金山まちづくりセンター内)

〒981-2402

金山字下前川原 17

☎ 78-1121

陶芸教室



7月17日(金)陶芸教室を開催しました。蔵王の「万風窯」に行って、講師の豊原 絵美子さんに教えて貰いながら、粘土で色々な作品を作りました。お茶碗やお皿、小皿に花瓶と個性豊かな作品を、皆さん手際良く完成させていました。帰りに秋保の「さいち」に寄って、お土産を持って金山に帰ってきました。

この後、乾燥と焼き上げを行い完成した作品は11月の「ミニ文化祭」に展示させていただきます。ご参加いただいた皆さん、出来上がりを楽しみにお待ちしております！

手びねりの陶芸体験！



万風窯さんの前で集合写真



陶芸体験後は雨に見舞われてしまいましたが、蔵王は丸森より涼しく過ごせたように思いました。電動ろくろを使用した作品作りも、来年は挑戦しようかな等と考えていました。ご興味ある方いらっしゃるでしょうか？皆さん、ご参加いただきありがとうございました！

お昼は天ざる蕎麦



今月の主な内容

- ・ 陶芸教室 …P 1
- ・ 結び塾・表彰ほか …P 2
- ・ 丸森地域づくり報告会 …P 3
- ・ 会長トーク&区長トーク …P 4
- ・ 郵便局よりお知らせ …P 5
- ・ 金山図書館よりお知らせ …P 6
- ・ 皆さんの作品コーナー …P 7~9
- ・ 金山の人々、戦争の記録 …P 10
- ・ かねやま集落支援通信 …P 11
- ・ 金山の話題・お知らせ …P 12

第2回 金山結び塾 ～ニュースポーツ～



7月10日（金）まちづくりセンターで第2回の金山結び塾を開催しました。丸森町スポーツ推進委員の目黒 千草さんを講師に迎えニュースポーツを行いました。赤組・青組に分かれて、点数を競い応援しながら皆でワイワイ楽しめました。ニュースポーツは最後まで点数が読めない所があり、やってみると盛り上がります。

笑いも運動、よく笑ってお喋りしてストレス解消になれば幸いです。ポッチャは金山まちセンで所有しておりますので、使いたい時は気軽に声を掛けてください！（その他の道具は町から借りれます。希望の方は事前にお声掛けください。日々の健康作りにぜひご活用ください。）

【本日のニュースポーツ】

- ❖ ポケットボール…ボールを打って数字の書かれたポケットに入れます。
- ❖ ラダーゲッター…紐が付いたゴムボールを引っかけて得点を狙います。
- ❖ ポッチャ…ボールを投げて近い方が勝ち！

納税組合連合会・表彰

7月9日（木）に丸森町役場にて丸森町納税貯蓄組合連合会の表彰式が行われました。金山地区からは高橋 福幸前組合長さんに「納税貯蓄組合長として多年にわたり納税思想の普及高揚に貢献され、この度ご退任されたこと」に対し、感謝状を贈呈されたとの事です。おめでとうございます。



【町長表彰】

退任組合長（勤続10年以上）
組 合：金山 町角納税貯蓄組合（13名）
組合長：高橋 福幸 前組合長



夏も、クマに注意！

全国的にクマ問題が相次いでいます。春よりも、夏の方がクマの行動範囲は広くなるとの事です。夏は春より食べ物が山中に少ない為、エサを探し求めて人里に降りてきてしまう場合があり、繁殖活動の時期も重なって活発な行動が予想されます。また、独り立ちした若いクマは経験が少なく迷い出て来てしまったり、ゴミ捨て場や畑等を食事場所として学習している場合もあります。夏から秋にかけて、人身被害が増える傾向にあるとの事なので、引き続き出没情報等に注意してお過ごしてください。

水防訓練



7月5日（日）に消防団による水防訓練が行われました。「縄の結び方」「積み土のう工」の訓練が実施されました。これから台風や水の事故が多い季節がやってきます。皆様におかれましても、天気予報や警報・注意報を活用し、十分気を付けてお過ごしください。



6月21日実施
金山分団独自の排水ポンプ訓練の様子



丸森地域づくり報告会

7月29日(火)、丸森町づくりセンターにて第7回の地域づくり報告会が開催されました。今回は金山自治会・大内地区協議会・館矢間地区協議会・大張自治運営協議会の各住民自治組織の発表でした。金山からは「行政区長会の活動について」を行政運営推進委員・金山地区会庶務の榎並 利夫さんが報告を行いました。合同会社Roof共同代表 佐伯 亮太氏による「縮小していく社会で充実した暮らしをつくるために～未来をあきらめないための縮充のまちづくり～」講演もあり、活発な意見交換が行われていました。

金山地区報告「金山行政区長会の活動について」

【金山地区の現状と課題】

現状...会議が連絡事項を聞くだけになりがち・区長同士の横のつながりが弱い・会議の進行や会議録作成は自治会局長任せ

区長改選(R7.4月)を機に、連絡事項だけではもったいない。情報交換会や特別講話等で地域住民の利便性向上とか区長間の連携も必要なのではという声も上がった。

【現状と課題への取り組み】

★体制を整える...新役員:会長・副会長・庶務(新設)・会計
・庶務の職務:事前打合せ進行・特別講話予約・議事録作成等

【取り組んだことによる効果】

①情報交換することによって、金山自治会と区長同士のコミュニケーションと利便性が高まり合意形成が図られた。活動の成果は地区毎に配信方法は異なるが「かわら版発行やふれあい会会報」などで周知されている。

②特別講話を継続して開催、自治組織(金山自治会)と区長会10名のコラボ事業で利便性を高めた。

③金山自治会報への区長トーク寄稿依頼を自治会より受けR8年4月から10人の区長の掲載がスタートしている。

【今後の展開】

区長会と自治会が、住民と共に育てる“金山の未来”住民の声を受け止め、地域の未来を共に考える組織へ「任せる」→「一緒にやる」へ。
～小さな改善を積み重ね「住んでよかった金山」を次世代へ～

発表者:行政運営推進委員
金山地区会 庶務 榎並 利夫さん



✿講話...縮小していく社会の中で充実した暮らしをつくる「縮充(しゅくじゅう)」をテーマに、全国的に問題となっている少子高齢化、過疎化が進む地方のまちづくりに対する向き合い方を考える。

開催月:講話テーマ・活動内容等(講師)

- R7. 5月:山林火災の防止について(町.総務課齋藤危機管理専門官)
- 6月:行政運営推進委員としての責務について(町.総務課職員)
- 7月:蜂に刺された時の対処法(町.保健福祉課健康支援班保健師)
- 8月:町内における犯罪の現状と防犯対策(角田署丸森交番飯村巡査部長)
- 9月:丸森地区区長会の活動、取り組み方(丸森地区宍戸会長)
- 11月:野生動物による農作物被害・熊(丸森町有害鳥獣駆除隊 齋藤氏)
- 12月:土砂・洪水氾濫の体験を振り返る(丸森在住 宍戸防災士)
- 12月:金山まちセン避難訓練参加
- R8. 2月:丸森町立病院の診療状況について(丸森町立病院 佐藤事務長)
- 3月:町議会の運営について(丸森町議会 佐藤議長)
腰痛対策・原因と対策(保健福祉課健康支援班保健師)
- 4月:新しい防災気象情報について(町.総務課齋藤危機管理専門官)
スマホ教室・区長会グループLINE登録(丸森町社会福祉協議会 職員4名)
- 5月:遺族基礎年金の見直し・年金制度改正の施行日等について
(大河原年金事務所お客様相談室 室長代理)
- 5月:まちセンアスファルト舗装繕奉仕作業(区長会有志)
- 6月:迷惑行為の概要と定義について(ファミリー・ウェルビーイング・ラボ 安島代表)



会長トーク～吾亦紅(われもこう)～

季節:7月10日から連日30℃近い気温となりました。梅雨明け前なので雨の日も有り、湿度が高く寝苦しい夜を過ごしました。下旬になると30℃越えの日が続くと予想されます。くれぐれも体調管理に留意され、熱中症にならない様ご注意願います。

毎度の事となりますが、7月から新たに値上げする品目が多数有り、多くの方々が大変な思いで生活していると思います。特に、年金受給者には大変厳しい状況が続きます。年金が少し上がりましたが、物価上昇に追いついていません。様々な工夫をして出費を抑えたいものです。何か良い知恵が有れば教えて頂きたいなと思う今日この頃です。

カナダ、メキシコ、アメリカで開催されています、サッカーのFIFAワールドカップ2026は大変な盛り上がりで感動的なシーンが多く有り毎日楽しみにテレビで観ています。但し、アメリカの大統領の判定に関しての介入、韓国の監督への国民からのバッシングなど、日本では考えられない事が日々起きています。日本に関してですが、決勝トーナメントに進みブラジルとの対戦をテレビの前で応援しました。最初に1点を取った時には歓喜でしたが、最後は1-2で惜敗でした。残念ですが今後に期待したいと思います。スペイン優勝、おめでとうございます！

行政運営推進委員(区長会)会議:7月1日の区長会内容ですが、報告、連絡、確認事項が9項目あり、2項目に関して質問がありました。内容は、各種団体の長の方々に金山自治会だよりに投稿を依頼してはどうかと、金山公衆衛生組合の視察研修(11月26日予定)に関して集金するかどうかの質問が有り、三役で検討する事としました。その後、丸森町社会福祉協会の佐藤会長と伊東次長より「丸森町社会福祉協議会」の会員紹介と会費納入の協力依頼が有りました。最後に、事務局から8月までの行事予定について説明致しました。

区長トーク:今月は3区の水沼区長のトークです。3区(表小路)の今と題して熱い思いを述べられています。計量的な項目もあり参考になりました。ありがとうございます。

金山自治会 会長 佐藤 隆一

区長トーク

「3区(表小路)の今」

3区行政運営推進委員 水沼 秀明

3区には旧小学校の跡地の石垣や109段の石段があり、登ると村社金山神社が在りさらに登ると戦国時代の城跡「お館山」、小中学校時代は格好の遊び場だった。夏休みに神社拝殿で宿題を、境内でワンバウンド野球等をして遊んだ。今から「肝試しだ」お館山の「てっぺんのトゲトゲの木」(柊:ヒイラギ)から「枝取ってこい」と先輩に言われ登ったものだ。途中に隠れた先輩に驚かされ、泣きべそをかいたのを覚えている。今度は後輩に同じことをして遊んだ。

表小路には金山ふる里かるたに詠まれた箇所が多々ある。それらの景観を今も保っているのが保勝会・金山神社世話人会・3区区民等である。息子の時代の夏休みは子供会が集会所を利用した。その当時は役場から借りていたが、今は地区民の財産となり表小路集会所として登記、トイレは暖房便座付水洗に改装された。

又、災害時は2区・3区の一時的避難所として自治会より指定されている。それら施設の維持管理を行政運営推進委員が中心となり行っている。平成17年頃は、3・4区の子供会が夏休みに使用した。集会所周辺には花壇を作り景観を保った。

当時の集会所使用記録簿を見ると年35回位だった。今は多くて15回位で、主に集落支援事業の一環で表小路ふれあい会が月1回「お茶のみ会」として使用している。

花壇は、今は花木による環境美化運動として自治会から花苗の提供があり道端花壇とし植栽、集会所及びゴミ集積所周りの美化向上を図っている。

高齢者が6割を超え、更に1割近くが一人世帯、「如何なる訓練に勝るコミュニケーション」という言葉があるそうです。繋がりが希薄になりつつある今、国民の財産である集会所を多いにコミュニケーションの場として活用すべきと思う。

金山本郷郵便局からのお知らせ



秋の味覚 蔵王の梨はいかがでしょうか？

幸水・豊水・新高を扱っています♪

それぞれ3kgずつのお取り扱いになります！

秋の贈り物にもぴったりです！

※それぞれお申込期間、発送開始日は異なります。
詳しくは金山本郷局に備え付けのチラシをご覧ください。

【金山地区の人口と世帯数】

(R8. 6月末現在)

行政区	男	女	計	前月比	世帯数	前月比
1 区	16	14	30	－ 1	13	0
2 区	25	28	53	＋ 1	24	0
3 区	27	34	61	0	27	0
4 区	31	41	72	0	33	0
5 区	75	60	135	0	64	0
6 区	118	116	234	－ 1	113	0
7 区	58	55	113	＋ 1	63	＋ 1
8 区	63	67	130	－ 1	52	－ 1
合計	413	415	828	－ 1	389	0

* 8月の主な行事・会議予定 *

6日(木) 敬老会代表者会議
13日(木) 金山ふる里 夏まつり
花火大会

15日(土) 終戦記念日(正午1分間サイレン吹鳴)
20日(木) 金山ふる里 夏まつり反省会

※都合により変更もありますことをご了承ください。



何でも最先端が良いこと？

最近ではタブレットやパソコン、スマホ等でどこでもいつでもデジタルデータで読書をする事が出来るようになりました。便利な反面、今こそ紙の本の良さを訴えたい所です。凝った装丁に重さ、紙の質感と匂いや本棚に並べた背表紙。何十年と過ぎて、人から人へ再び手に取る事が出来るのは本という「物」だからこそかも。

今後、デジタルならではの表現や、創造性も発展していく事でしょう。ナフサ不足でインク・紙も値上げし本の価格も上がっています。増加する膨大なデジタルデータを支えるデータセンターは大量の水と電力を消費し、環境への影響は無視出来ない問題となっているようです。

教育先進国のフィンランドでは、学校の教科書のデジタル化を積極導入しました。しかし、子どもの学力と集中力低下・心身の不調の訴え等で、紙の教科書へ見直しの動きが相次いだとの話もあります。急速で過度なデジタル化に対応出来ないのは、大人も子どもも同じかもしれません。デジタルの良い所、アナログの良い所、どちらかだけでなく、特徴や利点を生かしバランス良く活用する事…試行錯誤と膨大なデータ・検証が必要な、至難の業が求められています。

ところで、図書館では沢山の本が無料で読めるのです。図書館で色々な本を読んで、見つけてみてくださいね。読書は勉強だけじゃない！ぜひ本の世界で遊んでみてください。

金山図書館 よりお知らせ

Kaneyama library



夏は「〜ッと
ホラーも
良いですね…★



❀暑い夏！涼しい図書館で本を読みませんか？❀

新刊情報

【定期購読本】・きょうの料理・すてきにハンドメイド・S-styleせんだいタウン情報・ESSE

【寄贈本】

- ・全国の猫神様をめぐる(青柳 健二:青弓社)・くすだま折りのフランス人形
- ・折り紙フラワーの世界・モダン絵てがみ・発明特許のひみつ・サンドイッチのひみつ
- ・どうにかなるっちゃ(蓬郷 由希絵:KADOKAWA)・丸森町の文化財第23集 町場替え



【購入本】

- ・宇喜多 秀家～戦国人物伝～・小牧 長久手の合戦～歴史を変えた日本の合戦～
- ・最上 義光～戦国人物伝～・名探偵コナン劇場版作品マンガ「ハロウィンの花嫁」「黒鉄の魚影」
- ・大人も子どもも、失敗したってええがん、ええがん(蓬郷 由希絵:KADOKAWA)
- ・晴天(若林 正恭:文藝春秋)

❀2区(鬼形)央戸隆明さんより図書カード(6千円)を寄付して頂きました。ありがとうございました。図書館の蔵書購入に役立たせていただきます。

【開館時間】

月～金曜日(土日・祝日・年末年始は休館) 午前9時00分～午後5時まで

※図書館利用の際は「入館時の手指の消毒」等、感染症対策にご協力ください。マスクは個人の判断が基本となりますが、着用をお願いする場合があります。

発熱、風邪の諸症状のある方はご利用いただけませんのでご了承ください。

❀金山図書館では、本のリクエストを受け付けております！

こんな本を図書館に置いて欲しい、あの作者の新刊が読みたい…皆さんのリクエスト受け付けてます！『書名』・『著者名』をお知らせ下さい。出来る限り対応させていただきます。

❀宮城県図書館から図書の借り受けを行っております。

読みたい本や金山図書館に無い本などがありましたら『書名』・『著者名』を金山まちづくりセンターまでお知らせ下さい。ご要望の本が必ずあるとは限りませんが、出来る限り対応させていただきます。

どうぞ、お気軽にご利用ください。

金山まちづくりセンター:【☎78-1121】

皆さんの作品コーナー

俳句

初つ生りの 野菜鮮やか 夕餉かな
草ひいて みみずの住みか 乱しけり
アヤメ咲く 故郷恋し 野辺の路

詩舟

川柳

夏近し お別れしたい 胴回り
日焼け止め 塗って見たけど よく焼けた
体脂肪 知らん顔して 隠れん坊
眠れずに 一句浮かびし スマホ取る

伊呂波

「いきがい」

わたしのいきがいは、文章によって、表現することや大切な人たちに、これは伝えたいということを、伝えることです。人がしあわせになる一つは、いきがいをもちことであると思います。人はそんなときに、かがやいていたり、夢中になるものです。

表現というのは、自分のもつイメージや感情というものを、如実に表すこと、そのころみであると思は、思います。私は、そのようなことに、つまり、表現することに、いきがいを感じているのかもしれない。

いきがいをもちようになると、人というものは、かがやきはじめ、周囲の人たちにも、それが、伝わり、しあわせというものを、実に感じる一つの要素になると思うので、みなさんも、いきがいというものは、どんなものがあてはまるのか、考えてみてくださいね。

2区 穴戸 隆明

ふれあいサロンについて

ふれあいサロンは6月24日(水)午後1時30分よりまちづくりセンターホールに於いて開催しました。時間になり、水沼すみ子会長さんより挨拶頂きました。今日のふれあいサロンは「青い目の人形」の映像又懐かしのメロディを唄って頂くとの事です。来賓の紹介について目黒事務局長さんには窪田 高広さんを紹介(小斎出身)、丸森町社協の渡辺 靖子さんより引地 明彦さんを紹介(金山出身)現在茨城県に住んでいますとの事でした。

古い人形を図書館で見つけましたが、由緒が分からずそのまま保管していました。平成15年に「金山青い目の人形を蘇えらせる会」を結成しローズマリーちゃんを修復し、平成16年1月26日にローズマリーちゃんのお披露目式と金山小学校への贈呈式が行われました。今は丸森ふるさと館に展示されています。

窪田 高広さんは丸森町役場教育委員生涯学習課に勤務している時、教育長は斎藤 良治さんでした。その時、青い目の人形についてお話しを教えて頂いたので映像を見ながら説明をして行きますとの事で、映像を見ながら説明を頂きました。

見ましたら可愛い青い目の人形「ローズマリーちゃん」でした。ローズマリーちゃんはアメリカからやって来ました。昭和16年にアメリカの戦争が始まり、青い目の人形は敵視され、昭和18年には青い目の人形が焼かれたり壊されたりしました。星 泰三郎先生が図書館の金庫に隠して置いたそうです。昭和43年にNHKで放送され青い目の調査が始まりました。金山公民館長・森 陽吉さんが、紙に包まれた髪の毛や洋服のない

2部は引地 朋彦さんに懐

かしのメロディを時間の延長して頂き、上手な唄を聞かせて頂きました。一曲一曲を終えると、皆さんより拍手を頂き又ひばりさんの唄をうたう時はひばりさんの声を出して唄う。凄いです。

本人は2時間3時間唄っても大丈夫と言ってます。又何かの機会があったら来ますので、声掛けて下さいと話していました。

3区 齋藤 照子



・・・知らない、やまちゃんに叱られる！？・・・



【江戸よろず話編】

*【花のお江戸はグルメの発祥地】・・・！！！！

江戸中期の人口は、世界に冠たる大都市100万人が暮らす江戸の街。50万人が武士で、50万人が一般町民。男女比率が2:1。武士の大半が大名の家臣で単身赴任者。そのために、外食産業として多々の[屋台]が出現した。競争の中から様々なメニューが生まれ大評判となった。

*【現代まで続くファストフード】・・・・？？？？

《二八蕎麦》江戸前期では麺類と言えば[うどん]が主流。中期に関東で製造された濃口醤油が蕎麦の味を引き出すと評判になり庶民の嗜好が[蕎麦]に移行した。

《天 麩 羅》串に魚の切り身を刺して油で揚げたもので、野菜の場合は「揚げ物」と呼んだ。

《寿 司》従来は[押し寿司]であったが、[握り寿司]が考案された。現代の寿司よりサイズは大きかった。

《稻荷寿司》当初は中身は豆腐のおからだったが、のちにご飯を詰めて売り出した。

《鰻のかば焼き》生きた鰻をその場で割きタレに付けて焼いた。芝居小屋からの注文を受け器にご飯を盛ってかば焼きを乗せたのが【うな井・うな重】の起源。

*【屋 台】当時の屋台には車輪が無く、肩に担いで移動するスタイル。

* 次回予告【渡り鳥編】

(文責・佐藤泰宣 4区)



＼がんばれ～！／

✿ ポケットボール！

3区 齋藤 照子

自治会生涯学習事業として7月10日(金)午前10時よりまちづくりセンターホールに於いて「ニュースポーツ体験」が開催されました。

池田さんの進行で、自治会長挨拶、スポーツ推進委員・目黒 千草さんの挨拶、スポーツについて説明又3種目について説明とやり方を見せて頂きました。

赤組、青組に分かれて3種目①ポケットボール②ラダーゲッター③ボッチャに点数を付けます。青組に自治会の由美さんが入りました。

最初は練習を2、3回ぶつやりましたが中々難しいです。決戦となり皆さんで2回ぶつやりました。ボールを投げる、玉の付いた紐を三段の棒に掛ける時に皆さんで声を出し誰々さん頑張つてとの声掛けが良かったです。

又笑うという事は健康に良いので、良かったです。決勝になり青組の勝ちでした。負けても楽しかったです。又いつかやりたいです。今度とも宜しくね。

金山結び塾に参加して

✿ 皆さんの作品、声を募集しています！

川柳・俳句・短歌、お孫さんの作品、〇〇を載せて欲しい！など、お気軽にお寄せください。ペット自慢も募集しております！（※毎月15日ごろの締切とさせていただきます。）

募集中

～金山ふる里夏まつり～ ちょうちん絵付けワークショップ

7月23日（木）、夏まつりで飾る「ちょうちん」の絵付けを、金山地区の子ども達に手伝って貰い完成させました。ちょうちんは直径30cm。大きいけど丸い形は少し描くのが難しい？工夫しながら、それぞれ味のある面白い作品が出来ました。夏まつり会場をにぎやかに飾ってくれる作品達です。皆さんおいでの際はぜひご覧ください！



❖「夏まつりのチラシ」を配付しております。
詳しい開催内容が記載されておりますので、ぜひご覧ください❖

金山地区編集委員会「戦争の頃の思い出」

❖「戦争の頃の思い出」は、約30年前の平成7年10月に発行されました。金山地区で編集された地区民の方達の戦争体験記です。非売品の本で、発行当時は各世帯に配付されたのでしょうか？寄稿された方のお家では所蔵を確認しておりますが、詳細は分かっておりません。自治会では図書館にて保存している物が1冊あるのみです。現物を所有される方も少ないのでは？という事で、今一度この当時の方々の思いと記憶を皆様のお目に掛けようと掲載に至った次第です。この場をお借りして、先人の方々に敬意と哀悼の意を表させていただきます。編集委員長、森 陽吉先生の「発刊のことば」抜粋と、文章を次ページに掲載させていただきます。

此の度、戦後五十年という記念すべき年に「戦争の頃の思い出」の体験記を発刊することができましたこと、金山地区民各位と共に大いに喜びたいと思います。

この発刊の動機は、戦争に行かれた方々が亡くなられたり、だんだん高齢者となり、戦争の頃の体験が風化していくのではないかと思います。今の中にあの悲惨だった頃を想起し記述して後世の方々に平和の大切さを残してはという要望があったからです。幸い今年は戦後五十年の節目に当たっていますので、豪華な本でなくても心のこもった本を発刊しようということになりました。

今回この趣旨に地区の方々が賛同して下されご協力を賜りました。ありがとうございます。原稿の枚数に制限があったり、半世紀も前のことだったので、記憶も十分に甦ることができず書くのに大変だったと思います。しかし個性のあるすばらしい体験記が出来上がり読者の皆さんの心を打つものがあると思います。身近なこの金山の地区から人々は平和を願い、仲よく助け合い、思いやりをもって生活していくことこそが世界平和に寄与するものと思います。永遠の平和を求めていきましょう。

委員長 森 陽吉

～「戦争の頃の思い出・発刊のことば」より抜粋～



「学徒動員」

森陽吉

昭和十六年十二月八日、日本が真珠湾攻撃をしアメリカに宣戦布告した時、私は小学校六年生であつた。明けて三月に、中学校を受験し角田中学校へ進学した。戦争が激しさを増すと共に、学生の軍事教練も激しくなった。私達中学二年生にあつては、上級生が軍需工場へ行つたので、低学年ながら留守を守り、出征兵士を送つたり戦死者の葬儀に参列した。

ところが、中学三年生になると、船岡の第一海軍火薬廠に一週間交代で狩り出されたが、八月に入つてからは、家を離れて大河原にある火薬廠の萩野寮に入寮した。そして、十二工場第十二成型と七成型に配置された。十二工場はロケット用無煙火薬の製造部門の捏延・プレス工場であつた。わずかに十五歳にもかかわらずそれは危険な作業であつた。

プレスと捏延する作業の二つに分かれて作業をしたが、私は後の方で、ニトログリセリンの混じつた原料を摂氏八十五度に熱した大きなローラーで、うどんを練る要領で、毛布のように練っていくのである。それを丸めて、プレスに送るのである。その練っている時一日に一回はどこかで発火したものである。時には火傷を負うこと

もあるもので、いつでも耳のかくれる帽子をかぶり、手に小さなブラシを持って、火薬の粉を払いながら慎重に作業をしたものである。発火に備えて二人が戸口の水タンクの縄を持っていた。いつも危険と隣り合わせで、いつ発火するかわからない恐れと緊張の連続だつた。また火薬の匂いが熱気となって鼻をついた。しかし、戦争の勝利を目指し唯黙々として働いたのである。

戦局は益々激しくなり、工員は出征によつて少なくなり、我々の工場は二高生と中学生と女学生のみというあり様であつた。しかも勤務は昼勤と夜勤に分かれ一日の果たさなければならぬ。ノルマがあり大変だつた。最もつらいのは、食欲旺盛な時期なのに、食料がなく空腹だつた。米は殆どなく、ふきやどんぐりが大半の御飯やさつまいもが主食であつた。ある時、腹が空いて我慢できず、土手に植えてあつたカボチャを失敬し、蒸気で蒸して生同様のものを食べた。甘い物ほしさに、ニトログリセリンをなめて、すごい下痢をしたこともあつた。

二十年の三月頃に、小学校時代からの友人の石橋健君が、風邪を引いたため寒気がして、マントを着たまに機械室に入り、モーターのスイッチを入れた。とたんにマントが機械にからまり体が巻き込まれ、ピストンに頭を打って即死してしまつた。

又、佐藤栄一君も火薬の発火をさけるために、下腿を打撲して骨髄炎となり、戦後間もなく死亡した。この二人は僅か十五歳で、戦争の犠牲者でありいたましい限りである。心からご冥福をお祈りするものである。

忘れられないのは、昭和二十三年三月三日の父親の急死である。丁度夜勤明けで帰れるので急いで荷物の支度をし寮からバス停へ行つた。バスの中で父の同僚の方と会い「お父さんがきのう亡くなつた。知らせたはずだが。」と言われた。私は「うそだ」と言つた。半信半疑であつた。ただ果然とし車窓を眺めているだけだつた。「どうして昨日の中に知らせしてくれなかつたのか」と残念であつた。バスからおりて家まで走つた。すでに父は棺の中に入つていた。私は泣いた。余りにも悲しかった。兄は軍人で召集、自分は学徒動員で不在。家を守るために父はどれ程大変だつたか。過労がもとで急死したのであろう。一週間前帰宅して寮に帰る時、途中で父と母とが私を送つてくれた。夕やみ迫る頃うす暗い中に父と母とが手を振っている姿が今も目から離れない。

昭和二十年八月十五日の正午、重大放送があるというので事務

所前に整列した。戦争終結の玉音放送である。二高生は号泣した。しかし私達は放送内容が理解できず、放送終了後作業場に走つていき火薬作りをしていた。「もう戦争は終わったのだ。止めてよい」と言われ二高生が泣いた意味がわかり唯ぼうぜんと佇んでいた。

かくして学徒動員が終わったのであるが、学校に帰つても教科書もなくノートもない学生生活であつた。一体我々は何しに中学に入つたのであるか疑問に思つた。中学と言えば最も頭脳の働く収集力の旺盛な時なのに、毎日が人を殺す火薬作りに過ごした。いつも心では戦争はいやだ、早く終わらないかと思ひながら「よし、軍人になつて偉くなり、国家のために頑張るぞ」という矛盾した考えをもつていたのが不思議である。学問を学ぶために中学校に入つたのであるが、学問も大切だがそれ以上に大切なものは「生命」であり「平和」であることを身をもって体験した。ここで大声で「戦争は人類の敵である」と叫びたい。

金山地区編集委員会
平成7年10月発行
「戦争の頃の思い出」より抜粋



～集落支援活動のつぶやき～

7月3日（金）に「金山ふるさと夏まつり幹事会」が行われました。開催要項、タイムスケジュールや部門要領・人員配置や予算など、昨年の反省を内容に反映して計画案を出し、協議しました。今年も地区の皆さんと一緒に、楽しい夏まつりを開催出来るよう努めています。参加者の皆さん、帰省者の皆さん、地区の皆さんと一緒に作り上げるお祭りです。ご協力の程よろしくお願いいたします！



7月8日（水）に田林集会所で夏まつりに披露する盆唄とお囃子の練習が行われました。今年は田林神楽の皆さん、大石 岩夫さん・菅野 京子さん・須郷 勝郎さんが歌い手として参加してくれます。お囃子が聞こえると、一気にお祭りの雰囲気が出てきますね。ご苦労様でした！当日の盆踊りには、皆さんぜひご参加ください。



「ハア ヨーイヨーイ ヨーイナ ♪」



7月14日（火）に更生保護女性会さんとの共催で、やまちゃん食堂が開催されました。当日は町長、社協の会長さん達、宮城大学の学生と先生、まなびの森のボランティアさん、事務局も参加して子ども達・保護者の皆さんとご飯を食べました。学生の皆さんによるオリエンテーションや、水沼一子さん達による絵本の読み聞かせの披露もありました。

◆メニュー◆・夏野菜とひき肉のカレー
・切り干し大根のだし酢和え・フルーツヨーグルト



7月16日（木）に筆甫まちセンにて集落支援員事業の情報交換会が実施されました。各地区の活動を報告・共有してから、古民家を改装した宿「まるもりホテル」と旧保育所を改装した「まるもりビレッジ」の施設見学を行いました。代表の中村さん、様々な質問に答えていただきました。ありがとうございました！

【集落支援とは？】地区や集落の維持・活性化を目的とした支援活動です。丸森町から集落支援業務を受託。地域の巡回訪問などを通して現状を把握し、話し合いや検討を支援・実施、地域の課題解決や活性化に向けた取組や支援をしています。

※「集落支援員」として、そのみに従事する専門的知識に特化した職員を雇用出来る自治体もあるようですが、金山地区では事務局の通常業務（事務業務・生涯学習事業・地区別計画、地域のイベント運営・図書館業務等）と兼務になります。活動は多岐に渡り、地区によってそれぞれの活動と形態があります。集落支援業務は職員全員で担っています。これからも皆様のご協力を宜しくお願いいたします。

↓ 情報やお問合せはこちらまで ↓

電話：0224-78-1121 メール：kane-kou@town.marumori.miyagi.jp



金山の話題・お知らせ

自主防災会役員会・総会

7月9日(木)、自主防災会の役員会と総会が開催されました。令和7年度事業報告及び収支決算についてと監査報告、令和8年度事業計画及び収支予算案について提案され、審議の結果全ての議案について承認されました。総会資料は回覧いたしますのでご覧ください。



第2回金山自治会役員会

7月23日(木)、第2回役員会を開催しました。「第1四半期の予算執行並びに事業進捗状況」についての報告と「令和8年度ふる里夏まつり」「今後の主な事業」等について協議されました。

要望していたコミュニティ助成事業(宝くじの社会貢献広報活動事業)の交付に当たり、臨時総会の開催・書面総会実施の承認を頂きました。随時、広報・回覧等で進捗を報告させていただきます。

敬老会、豊穰祭の詳細については、決定し次地区の皆さんにお知らせして参ります。



【金山神社 夏越の大祓式～茅の輪くぐり～】

7月26日(日)金山神社にて「夏越しの大祓式」が催されました。境内には大きな「茅の輪」が用意され参拝者は輪をくぐり抜けて無病息災や厄除け、家内安全を祈願されたようです。

✧雨天でしたが、70名以上の方が参加されたとの事です。



注意

**安い？ガンに効く？期間限定？
「催眠商法」にご注意ください！**

**高齢者のお金
が狙われています…**

【催眠商法とは？】人を集めた会場で、安い品物の無料配布や健康器具の体験・講座等を開催して、巧みな話術や会場の楽しい雰囲気の中で最後に高額の商品を購入させる商法の事です。

閉店した空き店舗等を会場に人を集め、販売員が親しく楽しませる話術で熱狂的な雰囲気を作り出し、競争意識や健康不安を煽ったり冷静な判断力を失わせます。「買わないと損！」という催眠状態を作り、次第に高額な商品を契約させてしまうという手口です。主な商品は健康食品、磁気治療器や羽毛布団等の高額の商品で、消費者トラブルに発展する場合もあるとの事。被害に会わない為には、会場に行かない！場の雰囲気に飲まれ、無料の品物を貰ってしまうと容易に抜け出せなくなります。タダより高い物は無いと肝に銘じましょう。